



農作業メモ

麦わらは燃やさず すきこんで地力アップ

麦わらの焼却は、煙害の原因になります。

一方で、麦わらは窒素、リン酸、カリを豊富に含む有機物です。ほ場にすきこむことで、地力の増進、土壌の物理性（排水性・保水性）向上が期待できます。

麦わらすきこみの留意点

(1) 長めに切断し、ほ場一面に散布

わらの切断長が短いと浮き上がりやすくなるので、やや長め（15cm程度）にカットするように、コンバインキャッターを調整しましょう。

作土中のわらの量が多いと作業の妨げになるので、わらは均一に散布しましょう。

(2) 耕うんは深く

作土中のわらを分散させるため、作業速度を遅くし、できるだけ深く耕しましょう。

また、わらの分解を促進するため、早めに耕うん作業を実施しましょう。

(3) 施肥による分解促進

麦わらの分解には、窒素が必要です。すきこみを始めた初年は、基肥窒素を慣行より2〜3割増肥します。ただし、2、3年目からは、土壌中の窒素が増加するため、増肥は不要です。

(4) 代かきは極浅水で

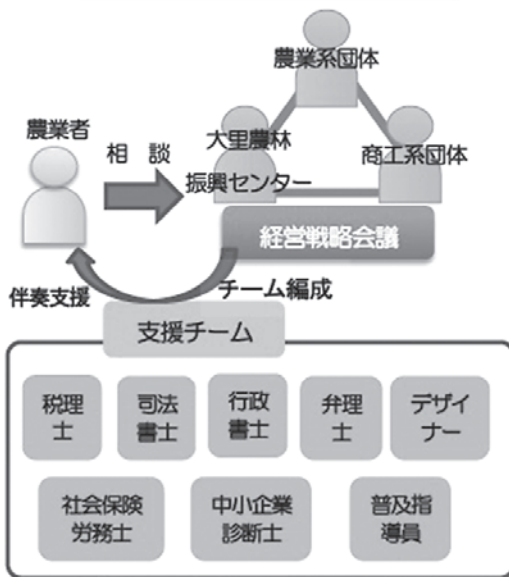
入水後のわらの浮き上がり、吹き寄せを防ぐため、代かきは田面が見え、車輪跡に水が溜まる程度の極浅水で実施しましょう。

(5) ガス抜き

水田で麦わらが分解されると、ガスが発生し、根の伸長が悪くなる等水稻の初期生育に悪影響を与えることがあります。田植3週間後を目安に2、3日落水し、ガス抜きをしましょう。その後は浅水管理とし、田植4週間後を目安に中干しを実施しましょう。

農業経営のこと よろず相談お待ちしております！

経営相談と支援のイメージ



経営課題は様々

- ・雇用を導入したい！
- ・事業継承を進めたい！
- ・法人化したい！
- ・適正な投資か判断したい！
- ・知的財産を守りたい！
- ・ブランド化したい！
- ・6次産業化したい！
- などなど

経営課題の解決に向けて、税理士や社会保険労務士、中小企業診断士など様々な専門家とチームを組んで個別相談にて支援しています。どうぞ、お気軽に御相談下さい！

大里農林振興センター 農業支援部 新規就農・法人化担当
048-526-2210